

先進的な取り組みの
ウェディング企業の事例に学ぶ

一蔵

新卒社員は各セクションをジョブローテーションで経験し正式配属

表彰する制度も充実しモチベーション喚起に

結婚式がどう作られるか スタッフも想いも学ぶ

一蔵では、新卒採用したスタッフは、一定期間すべてのセクションをジョブローテーションで経験した上で、自分のセクションに配属される仕組みになっている。同社は専門職も含め外注ではなく内製化しているため、プランナー希望で入社した場合でも、キッチンやフォトグラファーなどをジョブローテーションで経験し、結婚式全体がどのように作られ、それぞれのスタッフがどんな想いで取り組んでいるか理解した上で配属されるのだ。

配属されるセクションは10種類あり、土日メインで稼働しているセクションは土日に入るように組まれている。ひとつのセクションに2日から長くても1週間程度かけて、結婚式当日までの準備、結婚式当日の動き、結婚式後の業務を学ぶ時間を作っている。

2か月目からは、自分のセクションに配属され、OJTがスタートする。トレーナーが1名付き、マンツーマンによる指導に加え、ほかのスタッフにもカバーをしてもらいながら仕事を学んでいく。新卒社員はいつごろまでにどんなことが出来るようにするという目標スケジュールを組み、そこに合わせて教育されていく。

例えば、ウェディングプランナーなら、式場に配属され、各セクションを見たのち、5月くらいからOJTがスタートする。そして、6月末から7月にかけて新規接客のデビューが出来るように学んでいくほか、その1か月先には打合せデビューも出来るような教育スケジュールが組まれている。そして、最終的には年明けの1月に担当結婚式のデビューをするという流れだ。

事務所の機の配置にも、新卒社員をフォローする考えが表れている。ひとつの機のグループには新卒社員、トレーナー、2年目、3年目のスタッフ、役職者が入るようなレイアウトになっており、各社員が新卒社員のサポートを行うだけでなく、2、3年目のスタッフは上級者の動きを見ながら自分でも教えられるように学んでいく。そして、しっかり研修を行うため、



一蔵
ウェディング事業本部長
宇美憲司氏

管理本部 人事部 人事課 チーフ
高石麻衣氏

新卒社員から相談事を受けるのではなく、先輩社員から率先して声をかけるようにしている。ウェディングではありがちな話だが、先輩社員が忙しそうで、後輩は聞きたいことがあっても声をかけにくいということがある。しかし、それに気を付け先輩社員から声をかけることで困っていることがあればすぐに対応出来る形をとっている。また、ここで徹底していることは、先輩社員は必ず手を止めてから話を聞くこと。もし、忙しく手を離せない状況なのであれば30分後に時間を作るなど、時間をしっかりとって教育するスタイルをとっている。

新卒社員やトレーナー、一般のプランナーも含め、各自のスケジュールを管理するシステムを同社では導入しており、何時から何時までは研修をする、ロープレを行うなどしっかりとスケジュールを押さえるようにしている。

こういった体制を組み、新卒社員が早くデビュー出来るようにサポートをすることで、安心とやりがいを感じてもらえるようになっているため、新卒社員の定着率も高くなっている。もちろん、個人差もあるため、面談などを通してじっくり進んでいきたい場合には教育スケジュールの調整なども行っている。しかし、昨今は「即戦力として活躍したい」という新卒社員が多くなっているという。

新卒社員に対しては、入社すると「ありがとう手当」というものが支給される。親などの親族、お世話になった人に、社会人になった感謝の気持ちを伝えるため、手当を5万円支給し、食事やプレゼントに充ててもらっている。結婚式が感謝を伝える



同社が運営するキャメロットヒルズ、百花籠。



●他にもこんなユニークな取り組み 企業内保育

企業内保育を埼玉で実施している。土日に子供を預けにくい面もあり、産休、育休明けでも働きやすい環境を提供。中堅、ベテラン社員の復帰促進へつなげている。



●他にもこんなユニークな取り組み FA制度

各セクションで積んだ経験を活かし、新たな業務で自己成長をするために、他のセクションや事業部へ異動することが出来る。正社員・契約社員で通算3年以上在籍していることなどが条件で、希望者は人事部および希望の異動先担当者と面談を行い、両者合意の場合に異動可能となる。

という面もあり、それをまずは自分たちが身近でお世話になった人に実践し、体感してもらおうというのが一番だと考えている。新卒社員もこの時期は担当結婚式がまだないタイミングで連休も取りやすいため、家族との旅行などに使うこともあるという。

新卒社員でも入賞できる 表彰式を実施

社員を表彰する制度も充実している。全セクションで表彰式が行われ、プランナーであれば営業の成績など数値で判断出来るもの、写真や料理などの技術的なものに関しては、それぞれの出来栄などで功績を評価し、3位まで表彰シロフィーや賞状を渡している。こうした表彰制度は今年で4回目になっている。新卒1年目のスタッフでも入賞出来るものなど多角的に20くらいの賞を設けており、昨年は新卒社員でありながら4冠を達成したスタッフもいる。表

彰式は年度が終わったあとの4月から5月に行うことが多く、新卒社員は入社してすぐに表彰式をみて先輩に憧れたり、「次は自分が」と思ったりしていい刺激になっている。

働き方もフレックスタイム制をとっており、月間の総労働時間は166時間40分。土日忙しい場合は落ち着いた平日に早く帰ったり、半休を取ったりするなどフレキシブルな対応も可能だ。また、午前中の結婚式が担当の場合は朝が早くなるが、その分打合せなどが入っていなければ遅くまでいなくていいようにしているほか、セクション単位で調整をしながら、月に1回は土日の休みをとれるようにしている。

「私は中途採用ですが、新卒、中途を問わず色々とチャレンジが出来る体制が早い段階から整備されているので、自分が決められた仕事以外にも幅広く取り組める会社です」と語る同社のウェディング事業本部長の宇美憲司氏。

4月から5月には、全セクションで表彰式が行われている。



全セクションで
行う表彰式



企業内保育



産休育休明けでも働きやすい環境をつくるため企業内保育を行っている